

α・オリゴ糖

「体重低減」で届出受理目指す

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、03・6262・1511)は、「糖類・糖質」で初めて機能性表示食品の関与成分となったα・オリゴ糖(α・シクロデキストリン、α・CD)を供給している。「食後の血糖値上昇を抑えることが報告されています」との表示で受理実績を有するが、現在は新たに「BMIが高めの人の体重を低減する」との表示で届出中だ。

シクロケムとしては、α・CDが脂肪と糖の吸収を抑制し、体脂肪を減少させたこと、さらに使道が改善されたことで体重を抑制したと考察されている。将来的には「体重の低減」と「食後血糖値の上昇抑制」の二つの表示でダイエット向けの提案を強化していく。

このほか、α・オリゴ糖の機能性についてはさまざまな研究が行われているが、同社ではその中でも「小型LDLコレステロール」の低減作用に注目している。LDLコレステロールは「悪玉コレステロール」とも言われ、動脈硬化や冠動脈疾患の要因と考えられてきた。一方、近年の研究ではLDLコレステロールの中でも直径25・5nm以下の「小型LDL」が真のリスク因子であることが指摘されており、実際に1万人規模のコホート研究も報告されている。小型LDLの上昇因子にはインスリン抵抗性と中性脂肪が挙げられているが、α・オリゴ糖はヒト試験で血糖値上昇および中性脂肪の低減作用を確認しており、実際にヒト試験で小型LDLの低減作用も確認された。

消費者庁が「小型LDLは健常者と病者を線引きする基準値が無く、『健康の維持・増進』の範疇が明確でない」との見解を示したため、同社では小型LDL低減に関する届出を中断したが、未病段階での小型LDL対策の重要性については引き続き強く訴えている。同社の寺尾啓三社長

は、テレビ・ラジオなどのメディアを通して小型LDLの情報を発信しており、近日中には書籍も出版予定だという。α・

オリゴ糖を扱う販売会社にも積極的な情報提供を行うなど、産業界とも協力して認知拡大していく考えだ。